

# 「山の日」について

H27. 11. 24 岐阜県林政部

## 1 国民の祝日「山の日」について

- ・ 8月11日を「山の日」と定め新たな祝日にする改正祝日法が成立（H28.1.1 施行）。
- ・ 制定の発端となった「山岳登山」を中心に、観光、環境、資源、森林、レジャー、スポーツといった分野に及んで山に親しむ機会を得て、山の恩恵に感謝する趣旨のもの。

## 2 ぎふ山の日について

- ・ 8月8日を「ぎふ山の日」として岐阜県森林づくり基本条例に規定（H18.5.21 施行）。
- ・ 森林づくりや森の恵みに対する県民理解を深める趣旨のもので、また8月はぎふの山に親しむ月間と同条例で規定している。

## 3 比較整理表

名称（制定日）	ぎふ山の日（8月8日）	山の日（8月11日）
施行年月日	平成18年5月21日	平成28年1月1日
根拠法令	岐阜県森林づくり基本条例	国民の祝日に関する法律
制定の趣旨等	<p>（条例22条）</p> <p>○県民の間に広く森林づくりについての理解を深めるとともに、<u>県民が森林づくりに係る活動に積極的に参加する意欲を高めるため、ぎふ山の日及びぎふの山に親しむ月間を設ける。</u></p> <p>○ぎふ山の日は、8月8日とし、ぎふの山に親しむ月間は、8月とする。</p> <p>○県は、市町村、事業者、森林づくり活動団体等と連携して、<u>森林づくりに対する県民の理解を深めるための啓発活動</u>その他ぎふ山の日及びぎふの山に親しむ月間の趣旨にふさわしい事業を実施する。</p>	<p>（法律一部改正時の国会趣旨説明内容）</p> <p>○我が国の国土の大半は山であり、我々は日々、多くの山の恩恵を受けて生活している。<u>大自然の根本たる山と向き合い、その恩恵に感謝し、山との共存、共生を図ることは極めて有意義。</u></p> <p>○国民の祝日として、新たに山の日を加え、山の日を8月11日とし、その意義を「<u>山に親しむ機会を得て、山の恩恵に感謝する。</u>」とする。</p> <p>○多くの国民がお盆休み、夏休みでもあるこの期間に、<u>大人も子供も、こぞって山に親しみ、山を考える日</u>となるものと考ええる。</p>
対象の考え方	森林	山全体（山岳登山、観光、環境、資源、森林、レジャー、スポーツ、東北の除染など）
関係省庁	林野庁	文部科学省・農林水産省・林野庁・国土交通省・観光庁・環境省
推進団体	岐阜県山林協会、岐阜県緑化推進委員会、岐阜県森林組合連合会、岐阜県木材協同組合連合会	日本山岳協会、日本勤労者山岳連盟、日本山学会、日本山岳ガイド協会、日本ヒマラヤン・アドベンチャー・トラスト

#### 4 ぎふ山の日の現状などについて

- 「ぎふ山の日」と国民の祝日「山の日」の2つの山の日がわずか3日の間にあることは県民に混乱を招くおそれが懸念される。
- ぎふ山の日フェスタなどの山の日関連イベントの開催を通じ、「ぎふ山の日」についての一定の認知度はあるものの、一般県民の認知度は依然低い傾向にある。

- 山の日イベント参加者の認知度 58%（ぎふ山の日フェスタ直近3年平均）
- 一般県民を対象にした認知度 27%（森と木とのふれあいフェア（H27.10））

- 「山の日」の取扱いについて、今年10月に県庁前広場で開催した「森と木とのふれあいフェア」来場者（462人）に対し、アンケート調査を実施した結果は以下のとおりで、山の日を統一した方がよいという回答が47%であった。

- 「ぎふ山の日」を国民の祝日「山の日」に統一した方がよいが 47%
- 「ぎふ山の日」と国民の祝日「山の日」の両方ある方がよい 33%
- 分からない 20%